

1 学校適正配置の必要性

各学校では、それぞれの学校規模によるメリットを生かしつつ、デメリットを補うよう、最大限の努力をしていますが、多様な教育活動を展開し、子どもたちが豊かな人間関係を築き、社会性を身につけていくようにするためには、小さなグループから大きなグループまで、場面に応じて適切な規模の集団を組むことが必要です。そこで、次の点について考慮しつつ、より良い教育環境を整備するために、学校規模の適正化を図る必要があります。

- 人間関係面
 - (ア) 子どもたち同士が豊かな人間関係を築くことができること。
 - (イ) 子どもたちが集団の中での適切な行動を身につけ、社会性を養うことができること。
 - (ウ) クラス替え等により、人間関係の固定化を防ぐことができること。

- 教育指導面
 - (ア) 大きな集団での学習活動や小グループでの学習活動など、様々な学習形態に対応でき、個に応じたきめ細かな指導と集団の相互作用を生かした指導の両方が可能であること。
 - (イ) 施設、特別教室、教材・教具等の使用に支障をきたさないこと。
 - (ウ) 中学校において、子どもたちのニーズに応じた部活動数を確保することができること。

- 学校運営面
 - (ア) 全教科に教員を配置して免許外の教科を担当する教員を置かないようにすること。
 - (イ) 教員同士が互いに切磋琢磨でき、校務分掌の運営に大きな負担を生じないこと。

2 学校規模の考え方

学校教育法施行規則及び平成 28 年度千葉市・大学等共同研究事業「千葉市における小・中学校の適正規模・適正配置のあり方について」を踏まえ、次の観点から本市における適正規模の基準を定めます。

小学校：各学年 2 学級以上、全体で 12 学級以上 24 学級以下

中学校：各学年 4 学級以上、全体で 12 学級以上 24 学級以下

* 中学校の各学年 3 学級以上、全体で 9 学級以上 11 学級以下は準適正規模

①小学校〔平成 36（2024）年度推計〕

小規模校（11 学級以下）：40 校 大規模校（25 学級以上）：7 校

* 分校、特別支援学級を含まない								
学級数	中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑区	美浜区	校数	計・割合
4				千城 更科 大宮台			3	40 36.7%
6	大蔵寺	横戸 花見川第三 さつきが丘西 柏井 瑞穂 花島	弥生	坂月 白井 大宮 若松台 源	大木戸 越智 大椎	高洲第四 真砂第五	18	
7		畑 花見川	あやめ台			高浜第一	4	
8		西小中台				高浜海浜	2	
9	仁戸名		柏台 千草台東	千城台東	椎名		5	
10	弁天	長作				稲浜	3	
11	松ヶ丘 川戸	こてはし台 さつきが丘東		統合校 (千城台南・旭)			5	7 6.4%
25					萱田東	打瀬	2	
26		検見川					1	
27	新宿 宮崎						2	
30				北貝塚			1	
33			小中台				1	
計	7	13	5	11	5	6	47	47校
全校数(109校)に対する割合								43.1%

②中学校〔平成 36（2024）年度推計〕

小規模校（11 学級以下）：26 校 [準適正規模校：10 校を含む。大規模校はなし。]

中学校 学校規模別 [平成36年度]

* 稲毛高附属中及び特別支援学級を含まない								
学級数	中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑区	美浜区	校数	計・割合
3				白井 更科		高洲第二	3	16校 29.6%
4				大宮	越智		2	
5						幸町第一	1	
6	川戸 星久喜	横橋 こてはし台			土気	高浜	6	
7		さつきが丘	千草台				2	
8				千城台西 千城台南			2	10校 18.5%
9	末広	朝日ヶ丘 花見川				高洲第一 幸町第二	5	
10	椿森	天戸	都賀				3	
11	松ヶ丘				土気南		2	
計	5	6	2	5	3	5	26	26校
全校数(54校)に対する割合								48.1%

3 高洲地区小中学校と近隣の小中学校の今後の児童生徒数推計について

※2018年度は実数、2019年度以降は推計値(2018年度実施推計)

※特別支援学級の児童学級数を除く

●中学校

高洲第二中学校 保有普通教室16 利用可能普通教室数12

年度	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)	2021 (H33)	2022 (H34)	2023 (H35)	2024 (H36)
生徒数	123⑤	116⑤	102④	115⑤	103④	109④	104③
3年生	49②	41②	33①	45②	30①	40②	33①
2年生	41②	33①	42②	30①	40②	33①	36①
1年生	33①	42②	27①	40②	33①	36①	35①

(参考)真砂中学校 保有普通教室数21 利用可能普通教室数15

年度	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)	2021 (H33)	2022 (H34)	2023 (H35)	2024 (H36)
生徒数	465④	442⑤	455⑤	478④	483④	499⑤	481⑤
3年生	164⑤	165⑤	141④	145④	169⑤	171⑤	157⑤
2年生	165⑤	136④	145④	169⑤	164⑤	157⑤	171⑤
1年生	136④	141④	169⑤	164⑤	150④	171⑤	153⑤



高洲第一中学校 保有普通教室数29 利用可能普通教室数25

年度	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)	2021 (H33)	2022 (H34)	2023 (H35)	2024 (H36)
生徒数	354⑩	355⑩	337⑩	339⑩	327⑩	320⑩	310③
3年生	118④	128④	118④	113③	106③	120④	101③
2年生	124④	116④	113③	106③	120④	101③	99③
1年生	112③	111③	106③	120④	101③	99③	110③

稲浜中学校 保有普通教室数14 利用可能普通教室数11

年度	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)	2021 (H33)	2022 (H34)	2023 (H35)	2024 (H36)
生徒数	248⑧	264⑨	306⑨	340⑩	374⑩	418⑩	429⑩
3年生	77③	74②	106③	101③	107③	132④	135④
2年生	73②	99③	97③	107③	132④	135④	151④
1年生	98③	91③	103③	132④	135④	151④	143④

●小学校

真砂第五小学校 保有普通教室数23 利用可能普通教室数19

年度	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)	2021 (H33)	2022 (H34)	2023 (H35)	2024 (H36)
児童数	90⑥	92⑥	95⑥	128⑥	135⑥	147⑥	166⑥
6年生	15①	13①	17①	19①	22①	15①	21①
5年生	13①	17①	16①	22①	15①	21①	24①
4年生	17①	16①	18①	15①	21①	24①	27①
3年生	16①	18①	11①	21①	24①	27①	26①
2年生	18①	11①	17①	24①	27①	26①	34①
1年生	11①	17①	16①	27①	26①	34①	34①

高洲第四小学校 保有普通教室数20 利用可能普通教室数13

年度	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)	2021 (H33)	2022 (H34)	2023 (H35)	2024 (H36)
児童数	145⑥	130⑥	130⑥	127⑥	130⑥	140⑥	129⑥
6年生	35①	23①	29①	19①	15①	24①	20①
5年生	23①	29①	19①	15①	24①	20①	23①
4年生	29①	19①	15①	24①	20①	23①	26①
3年生	19①	15①	24①	20①	23①	26①	22①
2年生	15①	24①	20①	23①	26①	22①	25①
1年生	24①	20①	23①	26①	22①	25①	13①

◎高洲第二中学校学区

●高洲四小学校学区

●真砂五小学校学区

◎稲浜中学校学区

●稲毛第二小学校学区

●稲浜小学校学区

稲毛第二小学校 保有普通教室数29 利用可能普通教室数19

年度	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)	2021 (H33)	2022 (H34)	2023 (H35)	2024 (H36)
児童数	581⑩	615⑩	706⑩	723⑩	737⑩	707⑩	670⑩
6年生	76②	82③	104③	105③	117④	125④	125④
5年生	82③	98③	105③	117④	125④	125④	130④
4年生	98③	98③	117④	125④	125④	130④	121④
3年生	98③	109④	125④	125④	130④	121④	119④
2年生	109④	118④	125④	130④	121④	119④	87③
1年生	118④	110④	130④	121④	119④	87③	88③

稲浜小学校 保有普通教室数12 利用可能普通教室数9

年度	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)	2021 (H33)	2022 (H34)	2023 (H35)	2024 (H36)
児童数	151⑦	165⑦	190⑦	227⑩	230⑩	229⑩	250⑩
6年生	20①	14①	33①	37①	46②	28①	37①
5年生	13①	32①	33①	46②	28①	37①	38①
4年生	31①	31①	41②	28①	37②	38②	41②
3年生	30①	39②	23①	37②	38②	41②	40②
2年生	38②	21①	32①	38②	41②	40②	45②
1年生	19①	28①	28①	41②	40②	45②	49②

高洲第三小学校 保有普通教室数22 利用可能普通教室数21

年度	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)	2021 (H33)	2022 (H34)	2023 (H35)	2024 (H36)
児童数	414⑩	404⑩	407⑩	388⑩	396⑩	393⑩	404⑩
6年生	77③	74②	74②	68②	69②	71②	61②
5年生	73②	72②	68②	69②	71②	61②	64②
4年生	70②	66②	69②	71③	61②	64②	55②
3年生	64②	67②	71③	61②	64②	55②	76③
2年生	65②	69②	61②	64②	55②	76③	66②
1年生	65②	56②	64②	55②	76③	66②	82③

高洲小学校 保有普通教室数22 利用可能普通教室数17

年度	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)	2021 (H33)	2022 (H34)	2023 (H35)	2024 (H36)
児童数	288⑩	317⑩	330⑩	329⑩	333⑩	357⑩	357⑩
6年生	48②	47②	56②	54②	47②	61②	52②
5年生	44②	56②	54②	47②	61②	52②	60②
4年生	52②	54②	47②	61②	52②	60②	55②
3年生	49②	47②	61②	52②	60②	55②	58②
2年生	43②	61②	52②	60②	55②	58②	71③
1年生	52②	52②	60②	55②	58②	71③	61②

● 2024年度の美浜区の中学校の生徒数推計

※特別支援学級の児童学級数を除く



※美浜区小中学校の統合実績

統合新設校名	開校	旧校名
高洲小学校	平成 23 (2011) 年	高洲第一小・第二小
真砂東小学校	平成 23 (2011) 年	真砂第一小・第四小
真砂西小学校	平成 23 (2011) 年	真砂第二小・第三小
真砂中学校	平成 23 (2011) 年	真砂第一中・第二中
高浜海浜小学校	平成 24 (2012) 年	高浜第二小・第三小
磯辺小学校	平成 25 (2013) 年	磯辺第一小・第二小・第四小
磯辺中学校	平成 25 (2013) 年	磯辺第一中・第二中
幸町第一小学校	平成 25 (2013) 年	幸町第一小・第四小
幸町小学校	平成 27 (2015) 年	幸町第一小・第二小

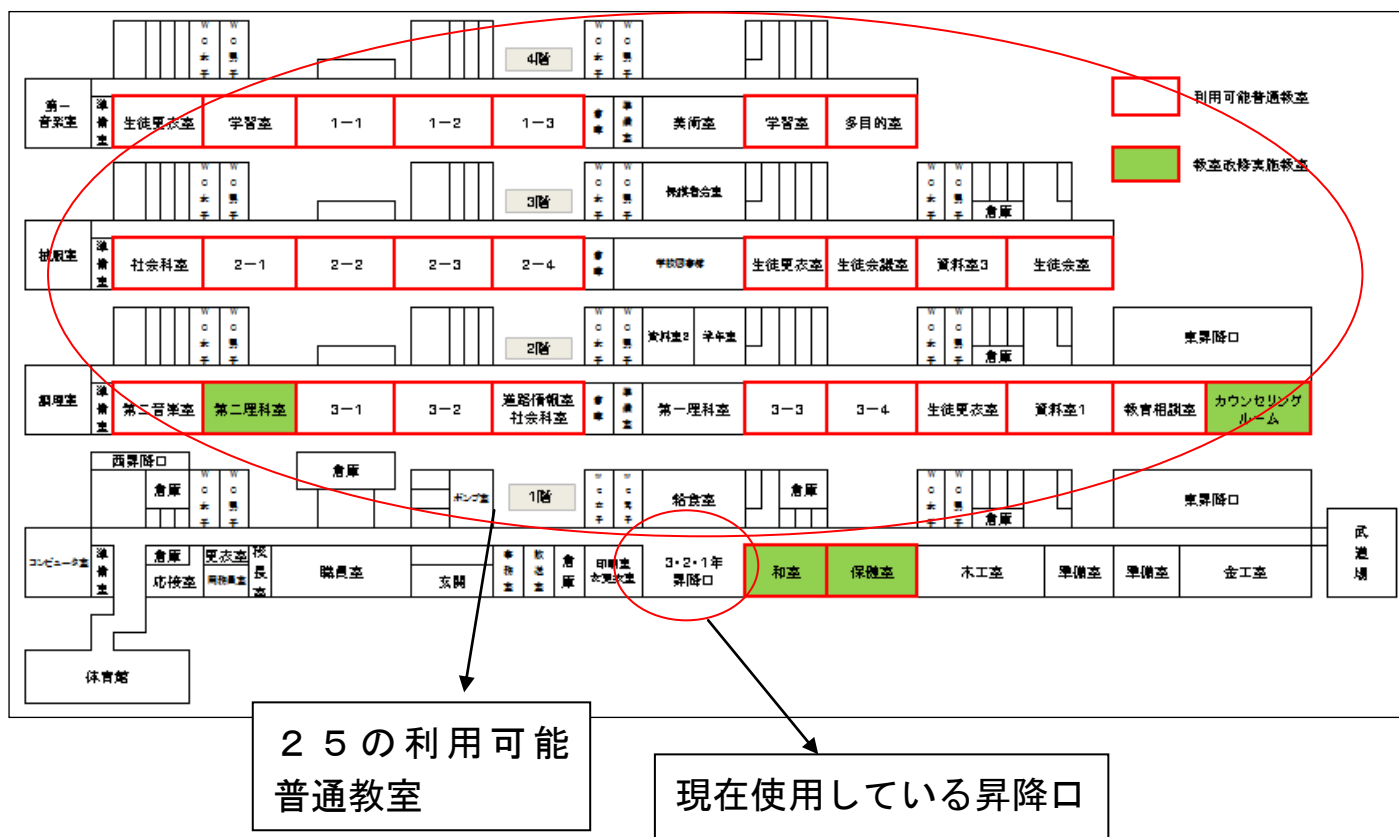
4 高洲地区の中学校の学校適正配置の必要性について

(1) 高洲第一中学校

高洲第一中学校 保有普通教室数29 利用可能普通教室数25

年度	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)	2021 (H33)	2022 (H34)	2023 (H35)	2024 (H36)
生徒数	354⑪	355⑪	337⑩	339⑩	327⑩	320⑩	310⑨
3年生	118④	128④	118④	113③	106③	120④	101③
2年生	124④	116④	113③	106③	120④	101③	99③
1年生	112③	111③	106③	120④	101③	99③	110③

●2018 年度(平成30年度)の校舎配置図(1 年生3学級・2年生4学級・3 年生4学級)



今後の予測

- ・2024 年度には、優先度Ⅲ（9～11学級）の学校になる。準適正規模であり、学校運営をする上で適切な規模である。
- ・利用可能教室数が25と多く、2024 年度にはクラスルームとして使わない教室数が16発生する。
- ・統合が実現すると、施設がさらに有効に使える。

(2)高洲第二中学校

高洲第二中学校 保有普通教室16 利用可能普通教室数12

年度	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)	2021 (H33)	2022 (H34)	2023 (H35)	2024 (H36)
生徒数	123⑤	116⑤	102④	115⑤	103④	109④	104③
3年生	49②	41②	33①	45②	30①	40②	33①
2年生	41②	33①	42②	30①	40②	33①	36①
1年生	33①	42②	27①	40②	33①	36①	35①

今後の予想される課題

- ・2024年度には、すべての学年で単学級になる。
- ・教員数が少なく、すべての教科で常勤の教諭が配属できない。
2018年度は、美術、保健体育の講師が他の学校と兼務して勤務している。
- ・部活動の数が限定される。

2018年度部活動 ()は1、2年の人数 ※2018年度5月1日現在

部活動名	部員数		顧問数
	男子	女子	
サッカー	16(8)	—	2
バレーボール	0	17(8)	2
卓球	19(11)	0	複数で見ている
ソフトテニス	16(8)	20(14)	男子テニス部1・女子テニス部2
美術部	1(1)	7(6)	1
生活文化	0	11(8)	1
音楽	0	10(6)	1

※卓球部は、2019年度総体まで活動、以降廃部の予定

- ・学校行事の課題
体育祭や合唱コンクールで競争心ややる気などの低下が心配される。